



受賞作品

<p>第41回 新田次郎賞</p> <p>『帆神 北前船を馳せた男・工楽松右衛門』</p> <p>玉岡 かおる // 著 (F タマ)</p>	<p>播州高砂の漁師から身を起し、大胆不敵な船乗りとして名を揚げた松右衛門。海商にのし上がり、やがて北前船の帆を革命的に改良して、江戸海運を一変させ…。知られざる快男児を活写する長編歴史小説。</p>	<p>第44回 日本シャーロック・ホームズ大賞 奨励賞</p> <p>『最後の挨拶』</p> <p>小林 エリカ // 著 (F コバ)</p>	<p>ホームズの翻訳者だった父が倒れ、四姉妹の末っ子は家族の歴史をたどりなおす。百年前のロンドンから現在まで、家族の記憶とホームズの物語が鮮やかに交錯し…。表題作など全2編を収録。</p>
<p>第10回 翻訳ミステリー読者賞</p> <p>『自由研究には向かない殺人』</p> <p>ホーリー・ジャクソン // 著 (B 933.7 ジ)</p>	<p>高校生のピップは自由研究で、自分の住む町で起きた17歳の少女の失踪事件を調べている。犯人とされている少年と親しかったピップは彼の無実を証明するため、自由研究を口実に関係者にインタビューするが…。</p>	<p>第53回 大宅壮一ノンフィクション賞</p> <p>『嫌われた監督』</p> <p>鈴木 忠平 // 著 (783.7 オ)</p>	<p>中日監督時代の8年間、落合博満は勝ち続けながらもなぜ嫌われたのか。異端の将の影響で人生を激変させた12人の男たちの目を通して綴られる、落合博満の実像と中日ドラゴンズ変貌の記録。</p>
<p>第75回 日本推理作家協会賞 長編および連作短編集部門</p> <p>『大鞠家殺人事件』</p> <p>芦辺 拓 // 著 (F アシ)</p>	<p>大鞠家に嫁いだ美禰子。だが夫は出征し、新婚早々、大鞠家の人々と同居することに。やがて彼女は一族を襲う惨劇に巻き込まれ…。大空襲前夜の船場を舞台に描いたミステリ。</p>		

ドラマ化作品

<p>眼の壁 出演:小泉孝太郎, 泉里香 ほか</p> <p>『眼の壁』(松本清張全集 2 所収)</p> <p>松本 清張 // 著 (F マツ 2)</p>	<p>白昼の銀行を舞台に、巧妙に仕組まれた三千万円の手形詐欺。責任を一身に負って自殺した会計課長の厚い信任を得ていた萩崎は、学生時代の友人である新聞記者の応援を得て必死に手がかりを探る。二人は事件の背後にうごめく巨大な組織悪に徒手空拳で立ち向うが…。</p>	<p>空白を満たしなさい 出演:柄本佑, 鈴木杏 ほか</p> <p>『空白を満たしなさい』</p> <p>平野 啓一郎 // 著 (F ヒラ)</p>	<p>3年前に自殺したサラリーマンの土屋徹生。「復生者」としてよみがえった彼は、自分の死の理由を追い求める中で、人が生きる意味、死んでいく意味を知る…。新たな死生観を描く長編小説。</p>
--	---	--	--

映画化作品

<p>はい、泳げません 出演:長谷川博己, 綾瀬はるか ほか</p> <p>『はい、泳げません』</p> <p>高橋 秀実 // 著 (785 タ)</p>	<p>泳げると、いいことがあるってホントですか? 40年以上もカナヅチだった著者が、スイミングスクールに通う羽目に。悩み、愚痴り、「泳げない」と「泳げる」の間を漂い続ける、体験的スイミング・ルポ。</p>	<p>峠 最後のサムライ 出演:役所広司, 松たか子 ほか</p> <p>『峠』</p> <p>司馬 遼太郎 // 著 (F シバ)</p>	<p>幕末、越後長岡藩から一人の藩士が江戸に出府した。藩の持て余し者でもあった河井継之助は、いくつかの塾に学びながら歴史や世界の動きなど、ものごとの原理を知ろうと努める。さらに江戸の学問にあきたらなくなった河井は、備中松山の藩財政を立て直した山田方谷のもとへ留学するため旅に出る。</p>
<p>さよなら、ベルリン またはファビアンを選択について 出演:トム・シリング ほか</p> <p>『ファビアン あるモラリストの物語』</p> <p>エーリヒ・ケストナー // 著 (943 ケ)</p>	<p>ワイマール共和国末期、頹廢的な空気に覆われたベルリンを舞台に、ファビアンというひとりの男の生活を通して時代と社会を痛烈に風刺した長編小説。戦後に書かれた2種類のまえがきを収めた完全版。</p>	<p>バスカヴィル家の犬 シャーロック劇場版 出演:ディーン・フジオカ, 岩田剛典 ほか</p> <p>『バスカヴィル家の犬』原案 (シャーロック=ホームズ全集 3 所収) ※児童書</p> <p>アーサー・コナン・ドイル // 著 (933 ド 3)</p>	<p>謎の魔犬に呪われているという一族の館で、主人が奇妙な死をとげる。いまわしい伝説は本当だったのか? それとも殺人事件か? 名探偵シャーロック・ホームズがワトソンとともに恐るべき事件に立ち向かう傑作ミステリー。</p>

